

授業科目	*看護倫理				単位	1		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11203J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP4-1			
担当教員	金山 正子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>看護倫理に関する基礎的知識、看護職者の直面する倫理的課題について概説する。さらに、さまざまな価値や信念に感受性・関心を深め、倫理的意思決定を行うための枠組みなどを活用して、看護・医療における倫理的課題への対応について、事例をとおしてグループでディスカッションしながら考えていく。看護の実務経験を持つ教員により、看護実践の場でおこりうる具体的な倫理的課題や事例について概説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護倫理の必要性を述べることができる。 2.看護の倫理原則を述べることができる。 3.看護者の倫理綱領を述べることができる。 4.看護実践における倫理的課題と対応について考えることができる。 5.倫理的課題に関する話し合いの場において、他人の意見に耳を傾けるとともに、自分の意見を述べるができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	30	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	10		5				15	
知識・理解 (DP1-2)	30		10	0			40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	20		15	10			45	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
看護倫理の必要性、倫理原則、倫理綱領を理解する。看護における倫理的課題と対応を考えることができる。倫理的課題の話し合いの場において、他人の意見に耳を傾けるとともに自分の意見を述べるができる。さらに、さまざまな倫理的課題をもつ事例への対応について、自主的に学習し、看護実践に繋げる。				<ol style="list-style-type: none"> 1.看護倫理の必要性を述べることができる。 2.看護の倫理原則を述べることができる。 3.看護者の倫理綱領をについて説明することができる。 4.看護実践における倫理的課題と対応について考えることができる。 5.倫理的課題に関する話し合いの場において、他人の意見に耳を傾けるとともに、自分の意見を述べることができる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:授業概要、看護倫理の必要性 授業概要の説明、生命倫理の原則と看護職の責務について概説する	講義	予習:医療倫理に関する宣言・綱領	60
2	テーマ:看護の倫理原則 看護の倫理原則、看護実践上の倫理的概念について概説し、事例をとおして考える	講義	復習:看護の倫理原則と看護実践上の倫理的概念について 予習:専門職の倫理	60
3	テーマ:専門職の倫理 看護者の倫理綱領、看護業務基準と倫理実践、保健師助産師看護師法と倫理について概説し、事例をとおして考える	講義・演習(GW)	復習:専門職の倫理 予習:倫理的課題と対応について	60
4	テーマ:看護における倫理的課題と対応 看護における倫理的課題と対応について概説し事例をとおして考える	講義・演習(GW)	復習:倫理的課題と対応について 予習:指定した事例について考える	60
5	テーマ:事例分析 グループで事例Ⅰ・Ⅱについて考え、意見を交換し、記録する。	講義・演習(GW)	復習:事例学習のまとめ 予習:指定した事例について考える	60
6	テーマ:グ事例分析 グループで事例Ⅰ・Ⅱについて考え、学んだ結果を全体で発表し、意見交換をする。	講義・演習(GW)	復習:事例学習のまとめ レポート:今後の看護に求められる倫理について(次回講義時に提出)	90
7	テーマ:今後の看護に求められる看護倫理について、意見交換と発表	講義・演習	予習:今後に求められる倫理について、発表できるように準備する。 復習:授業のまとめ	60
8	テーマ 授業のまとめ	講義	予習および復習:授業のまとめとファイリング	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	1 年次看護学概論において看護者の倫理綱領については学習していますので、再度復習しましょう。看護倫理は、今後、臨床現場における倫理的課題を考える際の基盤になるものですので、積極的に取り組みが必要です。			
テキスト	宮坂道夫他著：：系統看護学講座別巻 看護倫理、第 2 版、医学書院、2020 年			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書についてはその都度紹介し、教材については必要に応じて資料を配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	医療倫理や看護倫理に関して社会でおこる出来事やマスコミの報道に関心を持ち、人々がどのように考え、どのように対応しているか、考える機会をもちましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験 60%、レポート 30%、発表 10%で評価します。レポートの内容と提出方法については、授業の中で指示をします。			

